

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

市神様に手を合わせ

定例会 一般会計補正予算の内容は 2 ~ 3

一般質問 町政のここはどうする? 4 ~ 7

議会活動報告 新しいまちへの挑戦 8 ~ 11



写真／山辺町初市
(関連記事 12ページ)

山辺町議会
ホームページは
こちら

発行／山形県山辺町議会
編集／広報常任委員会

Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp

〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地

TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

2026
1
No.131

令和8年1月28日発行

やまのべ 議会だより

2026年1月号 VOL.131



第4回定例会

ニット議会開催

～お気に入りのニットで、町をPR～

議員と町幹部職員が町特産のニットを着用し、和やかな雰囲気の中、熱い議論を交わしました。

表紙の説明



●発行／山形県山辺町議会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
○印刷／藤庄印刷
委員長 委員会 委員会 委員会 委員会 委員会
副委員長 委員会 委員会 委員会 委員会 委員会
日佐渡 遠村竹野 藤邊 藤山侯一利裕 真由美 春和二
武田啓一郎 幸一朋

明けましておめでとうございます。昨年は皆さまにどうぞよろしくお願いいたしました。今年はまたまた、様々な年だったでしょうが、大きな災害もなく穏やかで、一年だったと思います。さて、今年の干支は「丙午(ひのえうま)」。火の要素と馬の躍動感を持ち、活動的でエネルギーッシュ、新しい挑戦に良いとされる縁起の良い年だそうです。私たち議会も、馬のように力強く前へ進む一年となるよう取り組んでまいります。また、さらに分かりやすく、身近に感じていただける議会だよりを作つていきますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

遠藤 真由美 記

編集後記

令和8年山辺町初市が、本町、駅前、仲町通りにて1月12日(月)に開催されました。前日夜から急に降り積もった雪も午後にはやみ、祝日とすることもあり、親子連れや子どもたちなどたくさんの人でにぎわった今年の初市でした。舞米豚の豚汁無料配布もあり、たくさん的人が列を作っていました。

明けましておめでとうござります。昨年は皆さまにどうぞよろしくお願いいたしました。今年はまたまた、様々な年だったでしょうが、大きな災害もなく穏やかで、一年だったと思います。

“住みよい まちづくりをめざして”

町の魅力発信で 選ばれるまちに!

定

例
会

令和7年度 山辺町一般会計補正予算

主な補正内容

- ふるさと納税寄附金の増により
 - ・ふるさと納税事業支援サービス委託料… 2952万円の増
 - ・ふるさと応援基金積立金… 2億円の増
- 情報通信ネットワーク管理運営事業の見直しに
 - ・DX推進事業伴走支援委託に… 220万円の増
 - ・地域活性化起業人制度負担金… 1120万円の減
- 健康延伸展開事業の見直しで
 - 水中運動教室の中止などによる見直し… 335万円の減
- 安達峰一郎生家のかやぶき屋根修繕に… 149万円の増



落雪シート設置中の安達峰一郎生家

特別会計補正予算

会計名	増減	総額
介護保険特別会計	85万円の増	16億4630万円

公営企業会計補正予算

		増減	総額
簡易水道事業会計	資本的収入	183万円の増	204万円
公共下水道事業会計	資本的支出	183万円の増	408万円
	収益的支出	296万円の増	3億3397万円

※各会計は事業見込みによります。

請願第4号

請願名	保険薬局も無料低額診療事業の対象とすることを求める意見書の提出に関する請願		
請願者	山形県民主医療機関連合会 会長 茂木 紹良		
趣旨	院外処方箋の患者も無料低額診療事業の対象とすることを求めるもの。		
紹介議員	日野 一春	結果	継続審議

請願第5号

請願名	国会議員の定数削減を行わないことを求める意見書の提出に関する請願		
請願者	山辺町革新懇話会 峯田 博		
趣旨	国会議員数は多様な民意を反映し、参政権を保障するために小政党の議席も必要不可欠である。		
紹介議員	日野 一春	結果	不採択
理由	国会議員定数のあり方は国政全体の制度設計に関わる重大事項であり、地方議会から一方的に削減反対を求めるることは妥当性を欠くものであり、代表制のあり方、選挙制度や財政負担など多角的な観点から国会自身が議論・決定すべき事項である。		

歳入歳出それぞれ
2億7881万円を追加し
総額79億6842万円に

定例会のあらまし

第4回定例会は12月8日から10日までの3日間の会期で開催され、7人が一般質問を行いました。本定例会では、教育長の再任同意、条例の制定と一部改正、令和7年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、公営企業会計補正予算、指定管理者の指定の14議案を審議し、全会一致で可決されました。また議員発議として上程した「山辺町議会活性化特別委員会の設置に関する決議」が可決され、同委員会委員長に佐藤利和議員、副委員長に神保稔議員が互選されました。

条例の制定と一部改正

り、育児期の柔軟な働き方を実現するためのものです。

○山辺町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
国が新たに創設した「こども誰でも通園制度（乳幼児が保育施設などで就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度）」を実施するための設備などにかかる基準を定めた条例です。

○町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
人事院規則の一部改正に伴う改正。妊娠、出産などについて申し出た職員に対する意向確認などをを行い、育児期の柔軟な働き方を実現するためのものです。

○町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
人事院規則の一部改正に伴う改正。部分休業の取得パターンの多様化を図る

柔軟な働き方を実現するためのものです。

○町特別職に属する者の旅費、費用弁償に関する条例の一部改正
○町一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正
国家公務員などの旅費制度の改正に伴い、職員などに対して支給する旅費などに関する諸般の基準に準じた見直しを図るものです。

○町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
人事院勧告および県人事委員会勧告に鑑み、職員の給与を改定するものです。

○財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正
公有財産などを柔軟に対応できるようにするものです。

期 間	公の施設 指定管理者	人 事 案 件	指 定 管 理 者 の 指 定
令和8年4月1日から令和11年3月31日まで	山辺温泉保養センター 株式会社グリーンクアパーク 長岡均氏	○山辺町教育委員会教育長任命に同意 任期満了に伴う再任に同意	○山辺町議会活性化特別委員会の設置を決議

○山辺町議会議員及び山辺町長の選舉における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
公職選挙法施行令および公職選挙法施行規則の一部改正に伴い、当該法律の措置内容に準じた対応に改めるものです。

議員発議

新しい町への挑戦



町の財産を生かし、
うるおうまちづくり

私たち議員は本会議場や会議室などで協議をすることが非常に多いです。でも時には外へ飛び出して行政視察や外部での研修を行ったり、各団体や地域の皆さんと交流を図ったりしています。令和7年10月から12月の議会活動・議員活動の一部を紹介します。ぜひご覧ください。

維持管理は大丈夫か

厚生産業常任委員会で11月10日に現地視察を行い、事業の進捗や管理状況、今後の課題を確認しました。

町道北垣船町線では、有事の際の重要な避難路となることから、路面補修や排水路整備の必要性を確認しました。大寺ふれあい公園では、8の字走行後の復旧状況を確認し、再発防止策や防犯カメラ設置の検討を求めました。

その後、山間部へ移動し、災害廃棄物処理の拠点として重要な松山処分場を視察し、環境への影響を抑えるための管理体制強化を会社側に求めました。大蕨棚田では、高齢化や担い手不足により維持管理が難しくなっている現状を踏まえ、「ふるさと原風景 棚田」の継承に向け、地域・行政・観光分野が連携した支援を要望しました。玉虫沼

農村公園では、維持管理が課題となっているため、省力化を含めた創意と工夫の検討を促しました。

当委員会では、今後も各課と連携しながら「まちづくり」を進めていきます。



降雪前に現地を視察（町道北垣船町線）

視察の学びを議会の力に

10月22日から24日まで、四国方面へ行政視察に行ってきました。

1日目は徳島県松茂町で「地方議会・議会運営の活性化」について学んできました。印象的だったのは、監視機能への松茂町議会の取り組みです。事業評価の詳細な説明を受けることで、より実効性のある事業実施に寄与できるそうです。また、松茂町の交流施設マツシゲートを見学し、平時ばかりでなく災害時にも活用できると知り、防災意識の高さを実感しました。わが町でも参考にしたい

いと思います。

2日目は香川県琴平町にて「町立小学校・認定こども園の再編整備」について伺ってきました。少子高齢化が進んでいる中で、子どもたち、保護者たちが良かったと思える教育施設を立案し推し進めています。住民の反対という厳しい場面も乗り越える信念など、非常に勉強になりました。

この研修で学んだことを持ち帰り、まちづくりに役立てていきます。



マツシゲートの説明を受ける（松茂町）



琴平町の議長を囲んで（琴平町）

文化財の保管と旧校舎の現状は

総務文教常任委員会では、文化財の保護と保存体制のあり方を検討するため、11月5日に山辺町ふるさと資料館と大門収蔵庫の保管状況について現地視察しました。ふるさと資料館は町の歴史や文化財の保存・展示の拠点ですが、西藏や南蔵の2階は足の踏み場もないほど収蔵品が密集しており、大門収蔵庫も含め、早急に保管方法のあり方の検討が必要だと感じました。

その後、廃校となっている旧小中学校施設の現況も視察しました。現在、これらの施設は、体育館やグラウンドのスポーツ利用をはじめ、学童保育やドクターヘリのランデブーポイントとして活用されているところもあります。しかし、全国的には観光施設や宿泊施設としての利活用事例もあ

ることから、今後は多角的な視点での施策展開も視野に入れる必要があると感じました。



環境も良く、早い利活用が望まれるきれいで広い校舎（旧作谷沢小・中学校）

災害に対する備えは万全？

中山町・山辺町両町議会議員協議会が、中山町防災センターにおいて12月12日に行われ、両町の防災対策について聞き、令和2年7月豪雨の状況や、それぞれの水防災に対する取り組みを確認しました。また、「石子沢川排水機場」と「垂直避難拠点」、「水防拠点」の各施設を現地視察しました。

両町では災害時の「相互応援協定」を結んでいます。協定内容や、両町の防災対策に係る現況について、行政として自分の町に足りないものは何かを学ぶ必要があります。



水害から町民の安全を守る石子沢川排水機場

どうする！議員のなり手不足

朝日町・山辺町両町議会議員協議会が、朝日町で10月15日に行われました。はじめに（株）朝日相扶製作所を訪問して、企業の取り組みやものづくりへのこだわりなど、企業理念について研修。手作業で丹念に作られた製品が海外まで広がっていることや、従業員に地元の方が多いことなど、地域産業として確固たる地位を築いていることが分かりました。その後、協議の場では、共通課題として、他の地方自治体でも直面している議員のなり手不足について、両町議会とも喫緊の課題として取り組まなければならないとの活発な意見が交わされました。



共通課題の共有で問題解決を

新しい町への挑戦



町の財産を生かし、
うるおうまちづくり

主な活動（令和7年10月～12月）

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 議会運営委員会 (11/10、11/25、12/2、12/10) | 政策提言書提出 (10/14) |
| 総務文教常任委員会 (11/17、12/8) | 例月出納検査 (10/20、11/21、12/22) |
| 厚生産業常任委員会 (11/18、12/8) | 定期監査 (10/29～10/31) |
| 広報常任委員会 (10/6、10/20、12/2、12/23) | 山形広域環境事務組合議員研修 (11/6～11/7) |
| 全員協議会 (11/25) | 最上川中部水道企業団議会臨時会 (12/18) |

防災訓練



安達峰一郎記念 世界平和弁論大会



さまざまなイベントにも 参加しています

まるごとフェスティバル



交通安全大会



福祉のつどい



お茶のみサロン

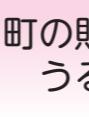
「未来を話す会*」がきっかけで嬉しいつながりが生まれました！

町内で活動している9団体16名の方から参加いただいた『未来を話す会』では「各団体の活動内容を初めて知った」との感想がありました。

その報告会を縁につながりをもった第3山辺地区福祉推進員会さんと図書ボランティア「てんこもり」さん。10月18日のお茶のみサロンの中で読み聞かせを依頼するなど、新たな交流が生まれました。

とても嬉しい情報をいただき喜んで取材させていただきました。

*未来を話す会については、「やまのべ議会だより」（令和7年10月29日発行No.130）12・13ページをご覧ください。



誰もが安全に利用 できる道路に

国道458号改良促進特別委員会では、12月17日に道路改築事業の理解を深めるための勉強会を実施しました。

はじめに、工事区間の現場視察を行い、整備の必要性や課題を再確認しました。その後、役場会議室にて県村山総合支庁担当課の方から、国道458号（中山・山辺間）および主要地方道山形朝日線道路改築事業（山辺工区）の進捗状況と今後の見通しについて説明を受けました。委員からは、交通安全の確保や地域間交流の促進に資する早期事業推進を求める意見が出され、今後も関係機関と連携し、事業促進に取り組むことを確認しました。



早期の事業推進を求めて

なくてはならない 議会に

山形県町村議会議長会「町村議会議員研修会」が、10月27日に2名の講師をお招きし、山形ビッグウイングにて開催されました。

福嶋浩彦 中央学院大学教授は、市長であった経験から「住民の声をよく聞き、議論を重ね、自治体の意思決定していくことが大切」と力説されました。また、金井利之 東京大学大学院教授は「政策にとって重要なのは〈問題〉と〈目標〉を明確にすること。議員活動の大半は問題提起に当てるべき」と説かれました。

わが議会も、皆さんの声をよく聞き、議論し、問題点を探って改善しようと動いています。この度の学びをしっかりと生かし、町政に反映できるよう提言を続けていきます。



どんな講演内容になるのか楽しみ～

信頼される議会を 目指して

村山地方町村議会議長会「議員合同研修会」が12月19日に開催され、元全国都道府県議会議長会事務局次長 内田一夫氏より「議員の責務と一般質問のあり方」と題し講演いただきました。

講演の中で、議員の責務と活動とは住民福祉の向上であり、議員の心得とは自治体の資産価値をいかに高めるかである。そのため、まちなかのささいな変化にアンテナを張ること。また、一般質問により議論を活性化させる責任があるとの言葉に、改めて議員の資質と議員力の向上が必要と再認識した研修会でした。



座禅で無の境地を



本年度は山辺町中央公民館で開催